

赤崎水曜日郵便局開局記念展

EXHIBITION

年目の

消

息

消えることと生きていること

音信

ありさま

移り変わる、時

よつす

たより



RYOTA KUWAKUBO クワクボリョウタ

MOTOYUKI SHITAMICHI 下道基行

YUSUKE ASAI 浅井裕介

2013.8.7土 → 12.1日

主催：つなぎ美術館 場所：1・3階展示室

語りかけることができる『君』

開館時間 10:00~17:00(但し入館は4:30まで)
休館日 水曜日
観覧料 一般300円(250円)
高・大学生200円(150円)
小・中学生100円(50円)
※()内は20名以上の団体料金。

※水尻市・薺北郡の学校による利用は事前申請により無料。



つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM

〒869-5603 熊本県薺北郡津奈木町岩城494
TEL:0966-61-2222 FAX:0966-61-2223

一年目の 「消息」

語りかけることができる「君」

2013.8.7(土) - 12.1(日)

三名のアーティストが 津奈木町を舞台に 新作を発表

人と人の意識の交換を働きかけるアートプロジェクト「赤崎水曜日郵便局」の開局を記念した展覧会を開催します。

光と影のインスタレーションによって、見る人に内面で体験を紡ぎ出す機会をもたらすクワクボリョウタ。フィールドワークを基に忘却されつつある日常的な物事を写真によって顕在化させる下道基行。その土地や身の回りの品々を素材として使い、植物や動物をモチーフに描き続ける浅井裕介。三名のアーティストは津奈木町を幾度も訪れたうえで制作に臨んでいます。アートによって土地の記憶を再編する行為は、そこに立ち作品を見る人に意識の交換を促し、新たな言葉を生み出します。土地の記憶から自身の未知の記憶を紡ぎ出す行為の行方には、いったい何があるのでしょうか。本展をご覧いただき、人々の新たな記憶の消息に思いを巡らせていただければ幸いです。

企画：楠本智郎(つなぎ美術館学芸員)
遠山昇司(赤崎水曜日郵便局ディレクター)



(LOST#8 (Tokyo makunouchi)) 2012年 東京ステーションギャラリー ©Ryota Kuwakubo ※参考作品



(Dusk/Dawn) 2011年 ©Motoyuki Shitamichi ※参考作品



(泥糞・糞足の大地) 2011年 東京都現代美術館蔵 撮影 Hitomi Uranaka ©Yusuke Asai ※参考作品

関連プログラム

出品作家によるアーティストトーク
9月7日(土) 13:30~
定員：20名(先着順) 参加費：観覧料

浅井裕介ワークショップ
「植物になった白線@津奈木」
9月8日(日) 13:30~
対象：小学生以上
定員：10名 参加費：無料
(先着順・要事前申し込み)



旅する朗読会「君へ」
案内人：玉井夕海
9月29日(日)
昼の物語 14:00~
夕方の物語 16:00~
対象：小学生以上
定員：各7名(先着順・要事前申し込み) 参加費：300円



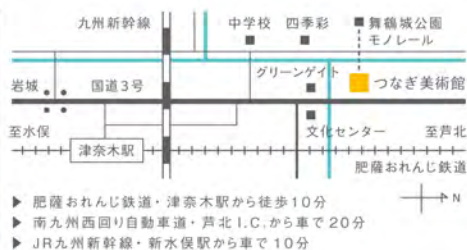
学芸員によるギャラリー・トーク
10月12日(土) 14:00~ 11月9日(土) 14:00~
定員：各20名(先着順) 参加費：観覧料

パフォーマンス
「古家優里×浅井裕介」
10月27日(日) 14:00~
定員：20名(先着順)
参加費：観覧料



Rhys TURNER

記念講演会
「メールから手紙へ。郵便的世界の意味するもの」
講師：南高宏(女子美術大学教授)
日時：11月16日(土) 14:00~
定員：30名(先着順) 参加費：無料



- ▶ 肥薩おれんじ鉄道・津奈木駅から徒歩10分
- ▶ 南九州西回り自動車道・芦北I.C.から車で20分
- ▶ JR九州新幹線・新水俣駅から車で10分

赤崎水曜日郵便局
<http://akasaki-wed-post.jp>

参加アーティスト：五十嵐靖晃 加藤笑平 玉井夕海
主催：つなぎ美術館 赤崎水曜日郵便局実行委員会

映画監督としても活躍する遠山昇司をディレクターに迎え、閉校となった海の上の小学校を拠点にアーティストと住民が人々の日常を全国へ向けて発信するアートプロジェクト。自身の水曜日の物語を送ると誰かの水曜日の物語が届く、ちょっと不思議な赤崎水曜日郵便局の詳細はホームページをご覧ください。

〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494
TEL:0966-61-2222 (FAX:0966-61-2223)

つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM